



資料2-3 30by30に係る生物多様性の見える化手法検討会の報告

令和5年3月8日



今年度の検討内容と全体スケジュールのイメージ



<今年度の検討内容>

生物多様性の可視化・地図化機能を中心に検討。

検討の結果、

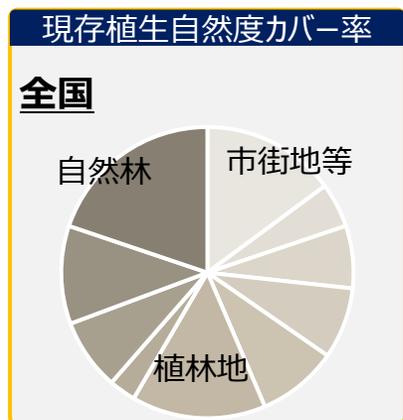
フェーズ① まずは**堅実なデータ**を使用し、**複数の基礎情報**を表示

フェーズ② その上で**順次機能**を**拡張**し、**生物多様性の評価（定量化・数値化含）**を目指す

生物多様性地図画面イメージ（フェーズ①）

利用者は**保護地域・OECM・自然共生サイト**の位置や**管理情報**等を確認することが可能。
さらに、**保護地域・OECMのカバー率**を確認することが可能。また、**任意の情報**を地図上で**参照**することが可能。

画面イメージ 数字は適当であり適切ではないことに留意



保全カバー率

カテゴリー	面積 (km ²)	全体の割合 (%)
全国 (378,000km ²)		
既存の保護地域+OECM	77,859.5	20.6%
既存の保護地域	77,490	20.5%
OECM	369.54	0.9%

生物多様性見える化システム（仮）

自然共生サイトに申請 | 生物種目録 | 情報集計

住所または場所の検索

【生物多様性情報集計】
既存保全地域の**カバー率等**を表示

土地利用	自然共生サイト	保護地域	白地
自然草原	約15%	約15%	約70%
自然林	約10%	約15%	約75%
植林地	約10%	約15%	約75%
二次草原	約5%	約15%	約80%
市街地等	約2%	約5%	約93%

■ 自然共生サイト ■ 保護地域 ■ 白地

【データ一覧】
地図上に表示するデータを任意に選択。
データを追加できるシステムの仕組み。

ベース情報
自然共生サイト
自然共生サイト

既存の保護地域
鳥獣保護区
保護林
特別地区
原生自然環境保全地域
自然保全地域
特別保護地区

生物分布情報
区画
生物区分

Esri, HERE, Garmin, FAO, NOAA, USGS

生物種目録のイメージ (フェーズ①)

分布推定モデルの結果を用いて該当エリアの生物種目録を作成。
観測記録がある場合、出典と共に観測情報を表示。

画面イメージ



【生物種目録】

利用者は都道府県・市区町村単位の生物種目録を確認することが可能。
データはモニタリングサイト1000やいきものログ等、環境省が保有するデータを想定。
自然共生サイトの申請情報も蓄積し、目録には反映させるようにする。

分類群	種名	環境省 RL	県版 RL	記録	出典	使用モデル
維管束植物				○	いきものログ	モデルA
				NA		モデルA
ほ乳類						モデルA
				○	いきものログ	NA
鳥類						モデルB
						モデルB

都市
里地
里山
森林

- ・ 申請前に環境調査を行う際にチェックリストとしても活用できる
- ・ 申請時の情報やモニタリング報告結果の情報等が蓄積され、当該リストは随時更新されていく仕組み

自然共生サイト申請サポート画面イメージ (フェーズ①)

申請者は任意のエリアを選択することで、該当エリア内に存在する価値を確認することが可能。
また該当エリアを選択した状態で申請ボタンを押下すると、申請書のドラフトを作成することが可能。

画面イメージ

The screenshot shows a web application interface for biodiversity assessment. At the top, there are navigation tabs: "自然共生サイトに申請" (Apply for Nature Coexistence Site), "生物種目録" (Species List), and "情報集計" (Information Summary). The main area is a map with a green overlay indicating a selected site. A blue dashed box highlights the map area, with a blue arrow pointing to it from the text "Step1:自身のサイトを囲む" (Step 1: Enclose your own site). Another blue dashed box highlights a sidebar menu, with a blue arrow pointing to it from the text "Step2:価値が分かる" (Step 2: Value is clear). The sidebar menu is titled "スクリーニング" (Screening) and lists various categories with checkboxes and area values. A blue arrow points from the map area to the text "Step3:申請書のドラフトが作成される" (Step 3: Draft of the application form is created). To the right of the map, there is a box titled "【申請機能】" (Application Function) with the text: "特定のエリアを選択した状態で申請ボタンを押下すると、本システムで保有する情報を基に申請書のドラフトを作成する" (When you click the application button in a state where a specific area is selected, the draft of the application form is created based on the information held in this system). Below this text are three checkboxes for value categories: "価値1 (重要地域)" (Value 1 (Important Area)) with a checked box, "価値2 (原生的生態系)" (Value 2 (Primary Ecosystem)) with an unchecked box, and "価値3 (二次的な自然)" (Value 3 (Secondary Nature)) with a checked box. Below these are two text input fields for additional information, one containing "....." and the other "....". A download icon is located at the bottom right of this box. At the bottom left of the screenshot, there is a small box with the text "Esri, HERE, Garmin, FAO, NOAA, USGS".